

WAKAYAMA MEDICAL UNIVERSITY 2026



和歌山県立医科大学
医学部
GUIDE BOOK





校章

マークの意匠は、和歌山が生んだ医聖・華岡青洲が全身麻酔薬として用いた植物「まんだらげ(チョウセンアサガオ)」の花に「医」の文字をデザインしたものです。

「まんだらげ」の花の絵は陶芸家富本憲吉氏の作で、もとは昭和38年に開催された医学総会のために描かれたものでした。その後「医」の文字を付加して、和歌山県立医科大学のマークとして永年親しまれてきた歴史を経て、昭和62年に正式に校章として認定されました。



初代学長 古武 彌四郎

本も読まなくてはならぬ
考へてもみねばならぬ
しかし
凡人は
働かなくてはならぬ
働くとは
天然に親しむことである
天然を見つめることである
かくして
天然が見えるようになる



初代学長 古武彌四郎先生之像



和歌山県立医科大学 学長

中尾 直之

長を続け、医療の発展に寄与し、社会貢献を果たす使命と責任を担っています。そこで、本学は「地域を支え、世界に挑む：医療の未来を築く医療系総合大学」という基本指針を掲げ、医療人の育成と大学病院として高度先進医療を提供することにより地域社会に貢献しています。さらに、世界に挑戦すべく教育、研究、医療の最先端レベルの知見をこの和歌山から世界に発信し続けています。皆さんも私たち

医学の新たな未来に向かってチャレンジ

和歌山県立医科大学は1945年に開学し、長く医学部医学科の単科大学でしたが、2004年に2番目の保健看護学部を開設し、そして、2021年4月に3番目の学部として薬学部を開設しました。近畿の公立大学では初めての薬学部を擁する大学となり、名実ともに医療系総合大学として今年で5年目を迎え、今後も挑戦と成長

とともに医学・医療の新たな未来に向かってチャレンジしていただきたいと思います。

本学は、医学部、保健看護学部、薬学部の3学部の医療系総合大学の特色を活かして、3学部相互の多職種連携教育やケアマインド教育を通して、医療人として必要な倫理観をはじめケアマインドやコミュニケーション能力を育成します。その他の特徴として、3年次には約10週間の基礎・社会医学教室への研究配属の期間を設けています。この期間では、基礎医学教室に所属して、実際の実験手技や医学研究の進め方を学びます。また、医学部在学中に大学院博士課程の一部を履修できる大学院準備過程(M.D.-Ph.Dコース)を設け、リサーチマインド旺盛な学生の期待に応えています。さらに、本学は海外の11大学と学術交流協定を結んでおり、在学中の留学も積極的に支援します。

このように、本学では総合的・専門的な基礎・臨床能力を高めるとともに医師として倫理観、人間性の涵養(かんよう)を図り、地域医療に貢献し、国際的にも活躍できる全人的医学教育を目指しています。

沿革

昭和20年 2月 和歌山県立医学専門学校設置認可(4年制、美園)
昭和22年 6月 和歌山県立医科大学予科設置認可(3年制)
昭和23年 2月 和歌山県立医科大学設置認可(旧医科大学4年制)
昭和25年 3月 和歌山県立理科短期大学併設認可(2年制)
昭和26年 3月 和歌山県立医学専門学校及び予科閉校
昭和27年 2月 学制改革による和歌山県立医科大学設置認可
昭和30年 1月 和歌山県立医科大学進学課程設置認可
昭和30年 3月 和歌山県立理科短期大学閉校
昭和30年 4月 和歌山県立医科大学開校(新制6年制、40名)
昭和33年 7月 学位規程の制定認可(学位審査権)
昭和35年 3月 和歌山県立医科大学大学院設置認可
昭和36年 3月 旧制和歌山県立医科大学廃止
昭和38年 4月 大学本部及び基礎医学部門移転認可(九番丁)
昭和39年 1月 学生定員60名へ変更承認
昭和40年 4月 進学課程移転(紀伊)
平成 7年12月 看護短期大学部併設(3年制)

平成11年 5月 和歌山県立医科大学統合移転完成(紀三井寺)
平成11年 9月 生涯研修・地域医療センター開所
平成12年 6月 救命救急センター設置
平成15年 1月 ドクターヘリ導入
平成16年 4月 保健看護学部開設
平成17年 4月 大学院医学研究科修士課程開設・博士課程再編
平成18年 4月 公立大学法人和歌山県立医科大学に組織改編
平成18年 8月 文部科学省の「特色GP」、「現代GP」に同時選定
平成19年 8月 文部科学省の「学生支援GP」に選定
平成19年10月 医学部定員85名届出受理
平成20年 4月 大学院保健看護学研究科及び助産学専攻科開設
平成20年10月 医学部定員95名届出受理
平成21年11月 医学部定員100名届出受理
平成25年 4月 大学院保健看護学研究科博士後期課程開設
令和 3年 4月 薬学部開設
令和 6年 4月 大学院医学薬学総合研究科開設



Wakayama Medical University

来たれ、若い力！

皆さんは、医学生となった自分の姿を思い浮かべながら、そして、この大学は良き医師になれるよう導いてくれるかを考えながらこのパンフレットを眺めているのかもしれませんが、さて、皆さんにとって良き医師像とは、どのようなもののでしょうか？“自分自身や家族を安心して任せられる医師”が共通するイメージの1つではないのでしょうか。それでは、安心して任せられる医師に必要な要素は何でしょうか？

「良き医師は病気を治療し、最良の医師は病気を持つ患者を治療する」という言葉があります。病気を治療するためには最先端の知識・技術が不可欠です。さらに、それらを有効に活用するにはチーム医療が必要です。また、患者は、病気を患ったことからさまざまな不安・悩みを抱えています。したがって、患者を治療するためには、知識・技術に加え、“寄り添う心”と“思いやり”を持った豊かな人間性が必要です。

一方で、最良の医師であっても、救えない命や治らない疾患・症状が存在します。最先端の知識・技術の習得は、先人の築き上げた歴史を学ぶことであり、現時点で何がわかっているかを学ぶことです。救えない命や治らない疾患・症状を克服するためには、「何がわかっていないのか」を理解し、先人の築き上げた歴史に新たなページを加えていく必要があります。これは研究によって成し遂げられます。したがって、医師には科学的探究心が必要です。

和歌山は、医聖華岡青洲が、1804年に世界に先駆けて全身麻酔による乳がん手術に成功した地です。医学部では、青洲の医療理念「内外合一・活物窮理」を基本姿勢とし、「豊かな人間性と高邁な倫

理観に富む人材、高度で専門・総合的な医学的能力を身につけた人材、コミュニケーション能力及びリーダーシップを備えた人材、地域医療及び国際的に活躍できる人材を育成すること」を教育目標として掲げています。高度な専門知識や技術を習得するための教育はもちろんのこと、チーム医療を実践する能力を身につけるために、

医療系総合大学の特徴を活かし3学部合同講義・実習を行っています。これにより、チーム医療に重要な多様な視点から医療を理解する力、そして、コミュニケーション能力及びリーダーシップ能力を育成します。さらに、幅広い視点と国際感覚を身につけるために国際交流にも力を入れております。研究面では医学部教育の中にM.D.-Ph.Dコースを設置するとともに、大学院では医療系総合大学の特徴を活かして医学薬学総合研究科を設置し、世界に貢献できる高度医療人・研究者の育成に取り組んでおります。

海と山に囲まれた自然豊かな和歌山で、皆さんが未来に思いを馳せ、勉学に励み、友人・師と出会い、高度な医療を実践する能力と豊かな人間性を涵養し、医療・医学の進歩に貢献できる最良の医師・研究者になることができるよう、医学部の教職員一同、全力で支援します。



和歌山県立医科大学 医学部長

川股 知之

医学部の使命

本学の教育理念

和歌山県立医科大学は、医学、保健看護学及び薬学に関する基礎的、総合的な知識と高度で専門的な学術を教授研究するとともに、豊かな人間性と高邁な倫理観に富む資質の高い人材を育成することにより、和歌山県の医療・保健の充実を図り、もって文化の進展と人類の健康福祉の向上に寄与する。

医学部の教育目標

医学部教育においては、幅広い教養、豊かな思考力と創造性を涵養し、豊かな人間性と高邁な倫理観に富む資質の高い人材、高度で専門的かつ総合的な医学的能力を身につけた人材、コミュニケーション能力及びリーダーシップを備えた協調性の高い人材、地域医療及び健康福祉の向上に寄与するとともに、国際的にも活躍できる人材を育成することを目標とする。

1・2ページ	医学部の使命・沿革 学長・医学部長あいさつ
3・4ページ	医学部の3つのポリシー 医学部の特徴
5ページ	カリキュラム概要
6ページ	入試概要
7ページ	県民医療枠について
8ページ	地域医療枠について
9ページ	和医大生キャンパスライフ

11ページ	学生アンケート
13ページ	研修医メッセージ
14ページ	部活紹介
17ページ	国際交流
18ページ	学生メッセージ
19ページ	年間スケジュール
20ページ	入学金・授業料・奨学金など
21ページ	キャンパスマップ

和歌山県立医科大学

医学部の特徴

医療系総合大学

の強みを活かしたカリキュラム

医学部 薬学部 保健看護学部

3学部の共同講義を実施

教員と学生の距離が近い教育

教員 1 人当たりの学生数

約 1.7 人

医学部定員600名に対して、教員約340名
(令和6年5月1日現在)

高い国家試験合格率

医師国家試験合格率

医師 94.8 %

(新卒・過去10年間の結果)

自習室を完備

国際交流制度の充実

本学との国際交流の協定先は11あり、

在学中の留学

を積極的に支援します。

VRを活用した 医学教育

本学はデジタル医療教育用の仮想現実(VR)システムを導入し、令和5年4月から全国の医学部でも導入が進んでいないVRを使った新しい医学教育を開始しました。

医学生はVRを用いて心臓カテーテル検査や血管内治療をバーチャル体験するとともに、様々な疾患の3DモデルをVR空間内で自由に操作し各種疾患の理解を深めています。

VRゴーグルをかぶって学習



医学部の3つのポリシー

アドミッションポリシー(入学受入方針)

求める人物像

和歌山県立医科大学医学部では大学の理念に基づき次のような人を求めています。

1 科学的探求心と豊かな人間性・高邁な倫理観を有する人

医学を志す人には、旺盛な科学的探求心とともに豊かな人間性、高い倫理観が必要です。人としての豊かな感性、人間性を有し、ボランティア活動などを通じて社会との深い係わりがあるとともに、高い倫理観を有する人を求めます。

2 医学を修得するための幅広い能力を有する人

医学の修得には、自然科学のほか人文・社会科学に関する学問の修得が必要です。自然及び人間・社会についての幅広い知識と向学心、自分自身で問題を解決できる能力を持った人を求めます。

3 コミュニケーション能力及びリーダーシップを備えた協調性の高い人

医師には医学的知識とともに患者および家族、職場の同僚と十分コミュニケーションできる能力(情報の共有と良好な患者-医師関係が築ける能力)が必要です。医療人として自己研鑽ができ、自己の理念を持っているとともに協調性に優れ、リーダーシップを発揮できる人を求めます。

4 地域医療に関心があり、国際的視野を有する人

本学は県民の医療を支えるとともに、国際的にも活躍できる医師を育成します。地域医療に関心があるとともに、国際社会でも活躍するための能力を高め、積極的に地域社会および国際社会に貢献できる人を求めます。

入学選抜の基本方針

1 学校推薦型選抜

学業のみならず、課外活動等において特に優れた成績あるいは実績を有する者で、医学・医療に貢献したいという強い意欲があり、人格的に特に優れた学生を求めています。大学入学共通テスト、高等学校長の推薦書、調査書、自己推薦書及び面接試験を課し、本学医学部のディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーを踏まえ、入学者に求める能力・適性を「学力の3要素」と関連付け、多面的・総合的な評価による選抜を実施します。

2 一般選抜(前期日程)

高い学力を有する者で、医学・医療に貢献したいという強い意欲があり、人格的に特に優れた学生を求めています。大学入学共通テスト、個別学力検査及び面接試験を課し、本学医学部のディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーを踏まえ、入学者に求める能力・適性やその評価方法を「学力の3要素」と関連付け、多面的・総合的な評価による選抜を実施します。

黒潮医療人養成プロジェクト

過疎高齢化や遠隔地の医師確保、将来の南海トラフ地震被害等多くの課題を共有する、
 本学と高知大学、三重大が協働で実施しているプロジェクトです。
 各県の地域医療人材養成拠点病院での実習やICT学習、相互交流等を通じて、
 地域ニーズに応える総合的な診療能力を身につけるためのプログラムを実施しています。

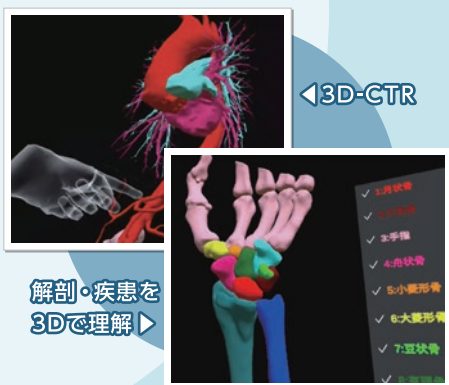
年次に応じた3段階のプログラム

- ・体験実習(2・3年次)：県内の地域医療人材養成拠点病院で2日間実習
- ・アクティブラーニングコース(1～5年次)：地域総合診療コースと災害・救急コースに分かれ、学会参加・発表や、県内の災害拠点病院での実習などを展開
- ・長期滞在型クリニカルクラッシュ(6年次)：従来の選択制臨床実習の枠組みを利用し、3週間の長期実習を実施

学びの共有・発信

- ・合同シンポジウム開催：毎年3月に本プロジェクトから得た学びを3大学の教員・学生、地域の皆さんと共有(2024年度は和歌山で開催し、本学の学生が3名発表)
- ・K-PICSの取り組み：ポケットエコーを活用し、地域医療の必須スキルであるポイントオブケア超音波検査を習得
- ・e-Learningコンテンツ作成：3大学でe-Learningコンテンツを作成し、いつでもどこでも学べる環境を提供

詳しくはこちらから▶
 黒潮医療人養成プロジェクトHP
<https://kuroshio-pjt.com/>



カリキュラムポリシー(教育課程の編成方針)

1 教育課程編成

ディプロマ・ポリシーに掲げる知識と能力を修得するために、教養、基礎医学、臨床医学に関する体系的で組織的な教育を提供します。知識に偏重した旧来型の教育ではなく、学修成果基盤型教育を行います。

2 教育内容・方法

1 1年次は教養教育が中心となります。医学への準備教育や自然科学、人文・社会科学および外国語に関する知識、医師としての倫理を学びます。
 また、入学後早い時期に医療の現場を体験する早期臨床体験実習や、3学部合同で患者の生の声を聞き、学生同士で意見交換し、その内容を発表するケアマインド教育などで、能動的学習やコミュニケーション能力の獲得を目指します。

4 3年次後半から4年次終了まで学ぶ臨床医学では基礎医学・社会医学との連携を図り、臓器別に疾患の概念、診察、検査、診断、治療の基本を系統的講義で学びます。少人数グループにわかれ、症例シナリオを用いる問題基盤型学習も含まれます。

2 1年次後半から臨床の基礎となる基礎医学の領域を中心として学びます。肉眼解剖から遺伝子レベルに至る人体の構造と機能を学び、さらに病気の病態、病因、薬物の作用、および社会と疾病の関わりについても学びます。

5 共用試験に合格した学生は臨床実習生(医学)として5年次から臨床実習を行います。臨床実習では、すべての科を網羅的に実習するとともに長期間の診療参加型実習を学内外で行い、臨床推論能力を含めた実践的な臨床能力の獲得を目指します。

3 3年次に行う基礎配属では、自分の興味のあるテーマを選び、基礎医学講座(社会医学系講座を含む)・先端医学研究所研究部・共同利用施設・人体病理学講座の研究室で実際の研究に触れます。大学院準備課程(M.D.-Ph.Dコース)で自身の研究を継続することもできます。

6 地域実習および国際交流を積極的に行い、広い視野を養い、地域社会および国際社会で活躍できる資質を習得する教育を行います。

3 学修成果の評価方法

シラバスに記載された学修目標について、授業中の小テストや発表、レポート、筆記試験、実技試験などの多面的な評価方法により、それぞれの到達状況を客観的に評価します。4年次、6年次に行われる医療系大学間共用試験実施評価機構によるCBT(Computer Based Testing)、Pre-CC OSCE(Clinical Clerkship Objective Structured Clinical Examination)、Post-CC OSCEなどの試験も評価に含めます。

ディプロマポリシー(学位授与方針)

和歌山県立医科大学医学部は次の能力を獲得した者に学士(医学)の学位を授与します。

- 1 命を扱う職業である医師として、より高い倫理観、社会人としての良識を備えているもの
- 2 総合的、専門的医学知識とともに医学研究や臨床研修を行うに足る技能を有しているもの
- 3 単に知識、技能を獲得しているのみではなく、それらを統合的に活用でき、患者の社会的、心理的背景にも配慮することができるもの
- 4 国際的視野を有し、地域での医療ができるもの

カリキュラム概要

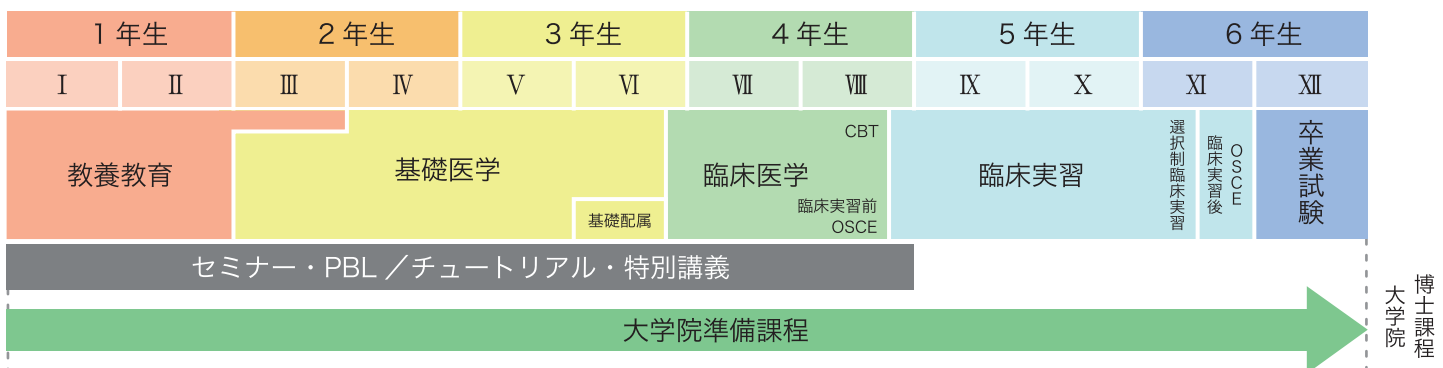
和歌山県立医科大学医学部は、知識に偏重した従来型の教育を脱却し、知識・技能・態度（倫理観）を総合的に育成できる教育を目指して成果基盤型教育を行っています。また、構造・機能、臓器別の横断的・総合的なカリキュラムを導入し、平成27年度には1～4年次にも患者に接する機会を増やすなど国際基準に適合し、臨床・研究能力の高い医師の育成が出来るようにカリキュラム改革を行いました。

改革の骨子は、1年次にはリベラルアーツ（教養教育）が中心となります。具体的には、医学部への準備教育や自然科学、社会人としての教養、医師としての倫理を学ぶ期間です。また、2年次、3年次には臨床の基礎となる基礎医学の領域を中心として学ぶとともに、基礎配属において研究に親しむ期間を設けています。3年次の後半から4年次には臨床医学の基礎的な内容を学び、共用試験に合格した学生は臨床実習生（医学）として臨床実習を開始します。5年次から6年次の前半には診療参加型臨床実習を行います。臨床実習後OSCEを行い臨床技能の評価を行います。

また、患者の方々の心の痛みにも目を向け、社会的な支援システムなども理解し、地域医療にも早期から慣れ親しむためのケアマインド、地域医療マインド育成にも力を入れており、1年次より早期臨床体験実習や地域福祉施設体験実習を行い、2年次には保育園実習・障害者福祉施設実習を行っています。さらに、シミュレーターを用いて、より実践的な臨床技能を身につけることができる臨床技能研修センターも併設しています。

平成25年度からは、大学院博士課程の一部を履修できる「大学院準備課程」を開始しました。これにより、医学部在学中に研究の基礎を学ぶことができるほか、大学院履修期間の短縮も可能となります。

これらの取り組みを通じて、本学では総合的・専門的な基礎・臨床能力を高めるとともに医師としての倫理観、人間性の涵養を図り、地域医療に貢献し、国際的にも活躍できる全人的医学教育を目指しています。



教養教育科目	基礎医学科目	臨床医学科目
<p>教養教育科目の授業は、1～2年前期にかけて行われます。人としての幅広い見識と、専門医学への準備としての基礎知識を身につけることを目的としています。</p> <p>また、入学後早い時期に医療の現場を体験する「Early Exposure 早期臨床体験実習」を実施し、医学及び医療に対する関心を高め、これからの医学を学ぶにあたっての問題意識を深めるカリキュラムがあります。</p>	<p>基礎医学科目の授業は1～3年にかけて行われます。「基礎医学」は医学の原点であり、臨床医学と表裏一体をなすものです。肉眼解剖から遺伝子レベルに至る人体の構造と機能を学び、さらに病気の病態、病因、薬物の作用、および社会と疾病の関わりについても学びます。</p> <p>また、各講座に少人数で配属され、自分の興味のあるテーマを選び、基礎医学の研究室で実際の研究に触れる機会（基礎配属）があります。</p>	<p>臨床医学科目は3年後半から始まり、病気の診断、治療、予防について学びます。臨床実習は4年後半～6年前半にかけて、少人数に分かれて行います。</p> <p>医療の現場を体験しながら、良き医師としての態度や知識・技術を身につける場であり、教科書からは得がたいものを自ら学びとりまします。講義には、臓器別に疾患をとらえた系統的講義と各科の特徴をふまえた講義があり、臨床医学を総合的に理解するための工夫が凝らされています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ●数学 ●統計学 ●医学統計学 ●数理学 ●物理学 ●化学 ●生物学 ●情報処理 ●英語・ドイツ語・フランス語・中国語 ●保健体育 ●ケアマインド教育 ●倫理学 ●法学 ●心理学 ●哲学 ●社会学 ●医療社会科学 ●医療行動科学 ●医療経済学 ●物理学実習 ●化学実習 ●生物学実習 ●心理学実習 ●早期臨床体験実習 ●教養セミナー ●医学入門 ●医学概論 ●データサイエンス ●キャリア形成 	<ul style="list-style-type: none"> ●生体分子の構造と機能 ●細胞の構造と機能 ●人体の正常構造と機能 ●基礎医学英語 ●特別講義 ●生体と微生物 ●病因と病態 ●人の死（法医学） ●免疫と生体防御 ●生体と薬物 ●生態と有害動物 ●遺伝子と遺伝子異常 ●医学英語 ●解剖学実習 ●生理学実習 ●生化学実習 ●薬理学実習 ●病理学実習 ●微生物学実習 ●基礎配属 ●研究倫理 ●地域実習 	<ul style="list-style-type: none"> ●血液系 ●代謝内分泌系 ●感染・腫瘍免疫系 ●循環器系 ●呼吸器系 ●消化器系 ●神経系 ●腎・泌尿器系 ●特殊感覚系（耳鼻咽喉科） ●特殊感覚系（眼科） ●皮膚科学 ●運動器系 ●精神医学系 ●生殖系 ●小児科学 ●麻酔科学 ●救急医学 ●臨床検査医学 ●画像医学・放射線治療 ●リハビリテーション ●歯科口腔外科学 ●緩和医療 ●病態栄養治療学 ●医療情報学 ●個人情報 ●医と法 ●医療安全 ●腫瘍内科学 ●形成外科学 ●リウマチ・膠原病系 ●衛生学・公衆衛生学 ●病理診断学 ●地域医療 ●健康管理 ●総合診療 ●IT医療 ●がんゲノム ●臨床英語 ●特別講義（東洋医学） ●看護体験実習 ●病棟実習 ●臨床実習入門 ●臨床実習

令和8年度入学試験の概要（予定）

募集人員・出願資格・入試日程・入試科目・出願方法等について、学生募集要項を必ずご確認ください。

選抜者区分		学校推薦型選抜	一般選抜(前期日程)					
募集人員		一般枠・・・6名程度 (県内募集)	一般枠・・・64名程度 (学校推薦型選抜の「一般枠」の入学者数により 若干名増減する。)					
		県民医療枠A・・・5名程度 県民医療枠B・・・3名以内 (全国募集) (注)県民医療枠A、Bは優先順位を付け、 併願することができます。	県民医療枠A・・・10名程度 (学校推薦型選抜の「県民医療枠A」の入学者数により 若干名増減する。) 県民医療枠C・・・2名程度 (学校推薦型選抜の「県民医療枠B」で募集人員に 満たない場合は、その不足分を募集人員に追加する。) (注)県民医療枠A、Cは優先順位を付け、併願するこ とができます。					
		地域医療枠・・・10名 (県内募集)						
主な出願資格		・高等学校を令和8年3月に卒業見込みの者か 令和7年3月に卒業した者 ・調査書の全体の評定平均値 4.3 以上の者 (注)推薦人員は高等学校1校につき、一般枠3名以内、 県民医療枠A2名以内、県民医療枠B制限なし、地域医 療枠3名以内	高等学校を卒業した者及び高等学校を令和8年 3月卒業見込みの者					
選 抜 方 法	第一段階選抜 (大学入学 共通テスト)	一定以上の学力水準を満たした者を選抜するた め、大学入学共通テストの成績により、第一段階 選抜を行います。	以下のとおり大学入学共通テストの総合得点かつ 志願倍率により実施します。 <table><tr><th>大学入学共通テストの総合得点</th><th>志願倍率</th></tr><tr><td>原則として630点以上※</td><td>約3.4倍(募集人員76名程度)</td></tr></table>		大学入学共通テストの総合得点	志願倍率	原則として630点以上※	約3.4倍(募集人員76名程度)
	大学入学共通テストの総合得点	志願倍率						
	原則として630点以上※	約3.4倍(募集人員76名程度)						
	第二段階選抜 (個別学力 検査等)	「学校長による推薦書」 「調査書」 「自己推薦書」 「面接」	英語	「英語コミュニケーションⅠ」「論理・表現Ⅰ」 「英語コミュニケーションⅡ」「論理・表現Ⅱ」 「英語コミュニケーションⅢ」「論理・表現Ⅲ」				
数学			「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学Ⅲ」 「数学A」「数学B(数列)」 「数学C(ベクトル、平面上の曲線と複素数平面)」					
理科			「物理基礎・物理」「化学基礎・化学」 「生物基礎・生物」から2科目選択					
		「大学入学共通テスト」「面接」						

※一般選抜(前期日程)の第一段階選抜における大学入学共通テストの総合得点は、独立行政法人大学入試センターから公表される大学入学共通テストの平均点(中間発表)によっては、630点未満でも合格となる場合があります。その場合、合格に必要な新たな大学入学共通テストの総合得点を出願開始前までに大学ホームページで公表します。

※学校推薦型選抜は、第一段階選抜合格者の中から、学校長による推薦書、調査書、受験生が記述した自己推薦書及び面接により、総合的に評価し合格者を決定します。

※一般選抜は大学入学共通テストの成績、個別学力検査の成績及び面接の結果を総合的に評価して合格者を決定します。従って大学入学共通テスト及び個別学力検査等の総計が合格者最低得点を上回っていても不合格となる場合があります。

入試結果

年度	区 分	募集人数A	志願者数B	受験者数C	入学人数D	うち出身校		志願倍率 B/A	競争倍率 C/A
						県内	県外		
令和7年度	推 薦	24名程度	68	27	25	20	5	2.8	1.1
	前 期	76名程度	341	227	75	10	65	4.5	3.0
	合 計	100名	409	254	100	30	70	4.1	2.5
令和6年度	推 薦	24名程度	77	26	25	20	5	3.2	1.1
	前 期	76名程度	342	229	75	16	59	4.5	3.0
	合 計	100名	419	255	100	36	64	4.2	2.6
令和5年度	推 薦	24名程度	79	31	24	20	4	3.3	1.3
	前 期	76名程度	194	157	76	15	61	2.6	2.1
	合 計	100名	273	188	100	35	65	2.7	1.9

県民医療枠について

目的

和歌山県内の公的病院において地域医療に携わるとともに、和歌山県医療の指導的・中心的な役割を担う人材を、大学入学時から15年間一貫した卒前卒後教育によって育成するために平成20年より設置しました。

また、和歌山県内で医師不足が深刻な産科医、小児科医、精神科医を育成するために令和5年度より卒業後の診療科を指定した県民医療枠Bと県民医療枠Cを新設しました。

どの募集枠も卒業後9年間のキャリア形成の一部について、和歌山県内で中核的役割を果たす公的医療機関等を中心に行うことを条件としています。

募集枠について

県民医療枠 A

- ・和歌山県内で従事する医師を育成する募集枠（診療科の指定なし）。
- ・学校推薦型選抜及び一般選抜で募集。

県民医療枠 B

- ・和歌山県内で「産科」に従事する医師を育成する募集枠。
- ・学校推薦型選抜で募集。

県民医療枠 C

- ・和歌山県内で「産科・小児科・精神科」のいずれかに従事する医師を育成する募集枠。
- ・初期臨床研修修了年次に3診療科の中から診療科を選択する。
- ・一般選抜で募集。

キャリア形成プログラム（コースイメージ）

県民医療枠 A の入学者

	9 年								
	県内勤務期間								
本学医学部	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	6 年目	7 年目	8 年目	9 年目
医学生 1～6 年生	本学での 初期臨床研修		専門研修	2年 地域派遣		専門研修		2年 地域派遣	
●和歌山県内の専門研修プログラムに登録									

県民医療枠 B の入学者及び県民医療枠 C のうち「産科」を選択する者

	9 年								
	県内勤務期間								
本学医学部	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	6 年目	7 年目	8 年目	9 年目
医学生 1～6 年生	本学での 初期臨床研修		3年 地域派遣（産科）			本学等での専門研修 （産婦人科）		2年 地域派遣（産科）	
			●和歌山県内の専門研修プログラムに登録						

県民医療枠 C のうち「小児科」もしくは「精神科」を選択する者

	9 年								
	県内勤務期間								
本学医学部	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	6 年目	7 年目	8 年目	9 年目
医学生 1～6 年生	本学での 初期臨床研修		3年 地域派遣（小児科・精神科）			本学等での専門研修 （小児科・精神科）		2年 地域派遣 （小児科・精神科）	
			●和歌山県内の専門研修プログラムに登録						

※詳細は、和歌山県のホームページでご確認ください。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050100/career/careerkeiseiprogram.html>



地域医療枠について

目的

和歌山県内のへき地医療拠点病院及びへき地診療所等で勤務する医師を育成するために、和歌山県の医療政策の一環として平成20年に設置されました。

卒業後9年間のキャリア形成の一部について、へき地医療拠点病院等を中心に行うことを条件にしています。

募集枠について

和歌山県内のへき地医療拠点病院及びへき地診療所等で勤務する医師を育成する募集枠。

学校推薦型選抜で募集。

なお、和歌山県内の高等学校を卒業（卒業見込み）の者、もしくは、和歌山県外の高等学校を卒業（卒業見込み）であって、出願時に扶養義務者（現に本人を扶養している者）が引き続き3年以上和歌山県内に居住している者が出願対象となります。

キャリア形成プログラム（コースイメージ）

	9 年								
	県内勤務期間								
本学医学部	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	6 年目	7 年目	8 年目	9 年目
医学生 1～6 年生	本学での 初期臨床研修		3年 地域派遣			本学等での専門研修		2年 地域派遣	
●和歌山県内の専門研修プログラムに登録									

※詳細は、和歌山県のホームページでご確認ください。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050100/career/careerkeiseipprogram.html>



和歌山県医師確保修学資金の貸与制度について

目的

和歌山県では県内の医師の確保及び充実を図るため、将来医師として勤務しようとする方に対し、修学資金貸与制度を設けています。

募集枠ごとの勤務条件等を満たした場合、**貸与金の返還義務が免除**となります。

貸与対象者

県民医療枠 **B**

県民医療枠 **C**

地域医療枠

の入学者

貸与金

1か月	自宅外から通学する者	15万円
	自宅から通学する者	10万円

貸与期間

6年間（通常）

※詳細は、和歌山県のホームページでご確認ください。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/050100/ishisyugaku/ishisyuugaku.html>



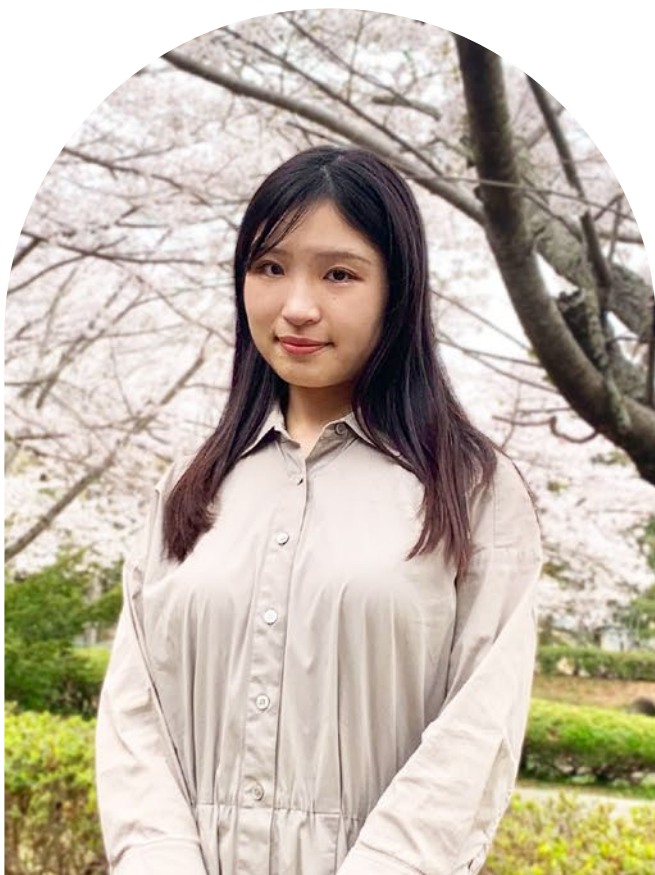
和医大生のキャンパスライフについて

3 年生

講初 莉子

1Day Schedule

6 : 30	起床
8 : 50	授業
12 : 40	昼休憩（昼食：お弁当）
13 : 40	授業
16 : 10	授業終了
17 : 30	部活
19 : 30	部活終了
21 : 00	自由時間
23 : 30	就寝



インタビュー動画▼



キャンパスについて

医学部1年生は三葛キャンパス、2年生から6年生までは紀三井寺キャンパスに通います。どちらも紀三井寺駅から徒歩10分圏内で、大阪から電車で通学する学生も多くいます。学食のメニューや付近のお店も充実しており、一人暮らしの学生にとって生活に困ることはありません。紀三井寺キャンパスは春になると桜が満開で、とても綺麗です。図書館は、広い勉強スペースがあり、医学書も豊富で、勉強に集中できる環境が整っています。

授業について

授業は基本的に70分で1コマ、5限までで、どの先生も非常に熱心に教えてくださいます。1年生では教養科目を学び、2年生、3年生では基礎医学を学びます。加えて、現在活躍されている医師の方々の話を伺い、自分のキャリアを考えるという授業もあります。未来を具体的にイメージする機会があるのも和医大の授業の特色だと思います。また、興味のある分野があれば、授業を超えて、積極的に研究にも携わることができるのも大きな魅力です。

課外活動について

私は合気道部に所属しており、週二日練習をしています。合気道は大学から始めたのですが、部員全員仲が良く、技に関しても、日々新しい発見でいっぱいです。和医大では部活動が盛んで、同期・先輩・後輩の距離がとても近いです。学生生活において、すぐに相談できる環境は大きな助けとなっています。加えて、私にとって、高校から続けているお箏もリフレッシュの一つとなっています。

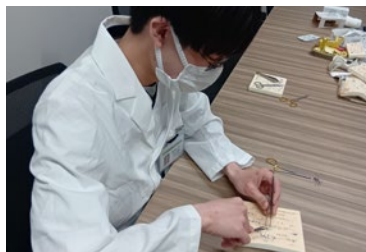
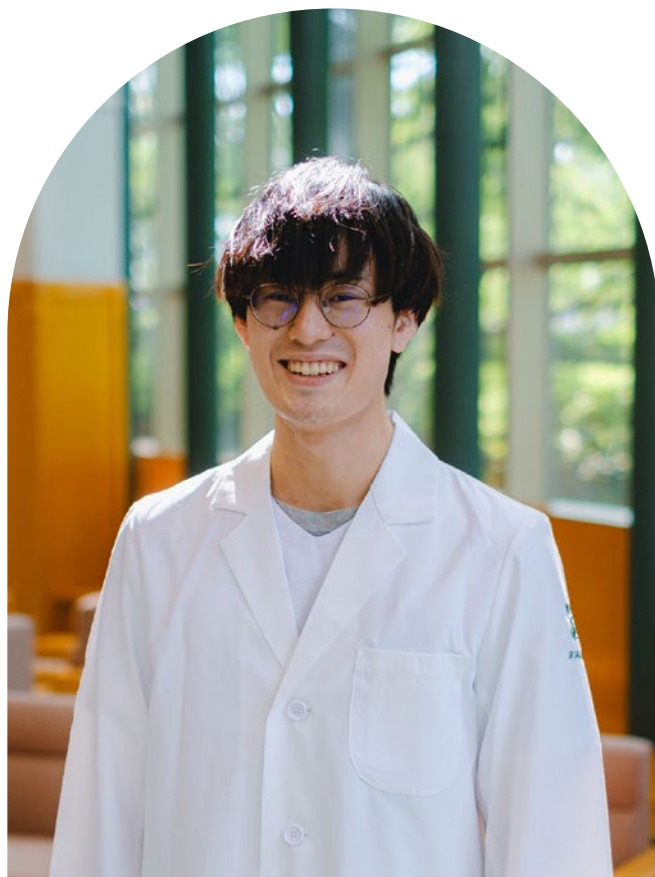
和医大に入る前と入った後の印象の違い

和医大に入る前は、勉強が難しく、ついていけるかどうか不安な気持ちもありました。入学後は、人間関係に恵まれ、協力して乗り越えていくことができています。また、勉強と部活動・趣味・アルバイトなどを両立できる環境なので、自分のやりたいことに全力で取り組みます。将来、同じ医療の道を志す仲間と共に、様々な経験をしながら充実した日々を過ごしています。

5 年生 日下 拓海

1Day Schedule

6:00	起床
7:30	カンファレンス
9:00	手術見学
11:00	セミナー
12:00	お昼休憩
13:00	手術見学再開
16:00	セミナー
18:00	部活またはバイト
24:00	就寝



インタビュー動画▼



キャンパスについて

私は大阪府出身で大学近くに一人暮らしをしています。和歌山県は大阪府と隣接する県なので簡単に帰省することができます。大学周りにはコンビニやスーパーだけでなくホームセンターや家電量販店、飲食店、その他生活に必要なお店が充実しております。一人暮らしを始める方も勉学や課外活動等に集中できる環境にあると感じています。

実習について

4年生時にある実習前の筆記と実技の試験であるCBT/OSCEに合格すると臨床実習が開始します。これまでに学んだ座学の知識を実際の臨床現場の間近で感じられます。指導医の先生方から忙しい業務の中、厳しい面もありますがフレンドリーに手技や発表の仕方など多くの事を教えていただけます。難しい部分も沢山ありますが学びを深められ、卒業後の自分自身の進路選択についても考えることのできる貴重な経験となっていることを実感しています。

課外活動について

私はバドミントン部に所属しています。校内最大の運動部でたくさんの同期、先輩後輩とともに楽しく過ごしています。部活動の中で縦や横の繋がりができ、大学生の部活動でしか経験できないようなこともあると感じます！また、学校の勉学と両立してアルバイトも積極的に行っています。アルバイトは人生経験としても、その中で成長できる面というのもあるように思います。

勉学について

生徒同士の距離感が近いことが和医大の特徴の1つで、テスト期間中には同期同士や先輩達に勉強を教えて貰うこともよくあります。私個人では、4年生時に心電図検定という検定にも挑戦し2級の資格を得ました。各キャンパスにある図書館は高価な医学書含め蔵書が豊富で調べ物がある時や自習室としても静かで勉強に集中することのできる環境になっています。M.D.-Ph.Dコースに所属し、学会でのポスター発表など貴重な経験も学生の内からできます！

和医大生キャンパスライフ Q&A

Q 入学して気づいた和歌山県立医大の良いところ

通学・生活

紀三井寺駅から近く、
通学に便利

飲食店やチェーン店が多くて
食事や気分転換に困らない！

大阪とのアクセスも良い

勉強

手厚いサポートのおかげで
医師国家試験合格率が高い

先生が教育熱心

アットホームな雰囲気
で学生と先生の距離が近い

学生生活・人間関係

部活動が活発

面白い人が多い

タテ・ヨコの繋がりが出来やすい

自然環境

校舎から海が見える

Q 学食のおすすめメニュー

1 和医大釜揚げ・かまたま

2 かけそば・うどん

\\ 同率3位 /

3 カツカレー

3 豚塩カルビ丼

3 和医大唐揚げ

\\ 同率6位 /

6 豚汁

6 カレーライス

6 きつねうどん

Q キャンパスでおすすめの場所



図書館



食堂



附属病院内のスタバ



大学生協



噴水前



三葛の図書館

Q 学校帰りによく行く場所

買い物

・スーパーマーケット
・コンビニ

飲食店 ・ カフェ

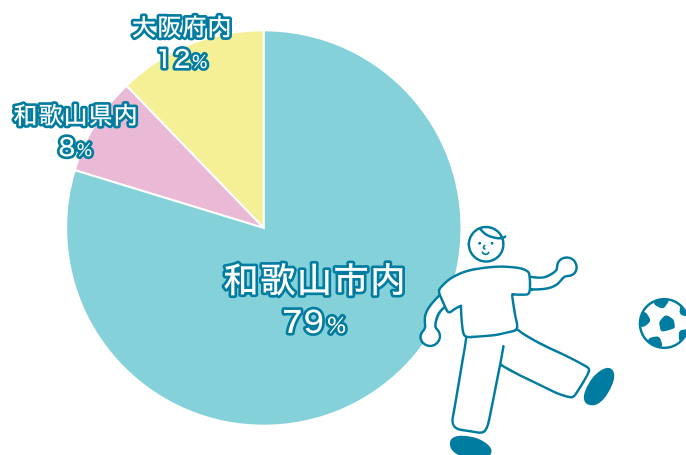
・カフェ
・カフェ・レストラン
・ラーメン屋
・インドカレー店

部活 ・ 娯楽など

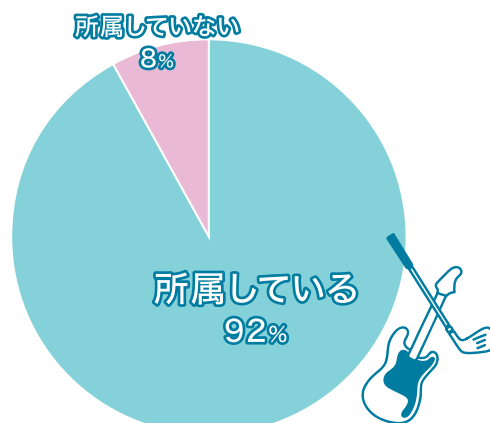
・ボウリング場
・名草山ゴルフセンター
・体育館
・図書館

※医学部生を対象としたキャンパスライフに関する調査（令和7年3月）

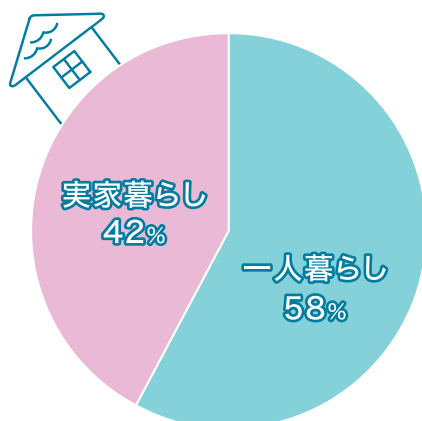
Q どこから通学していますか？



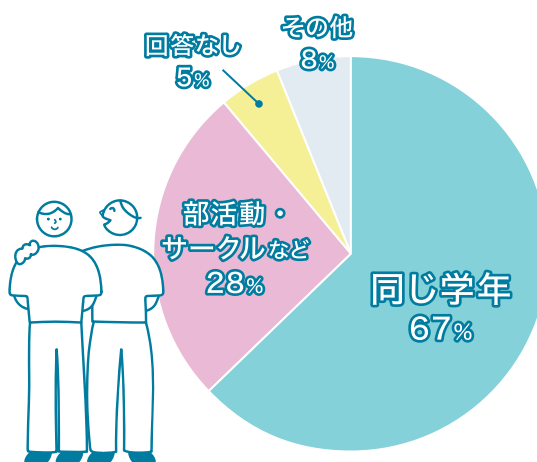
Q 課外活動団体 (部活・サークル等) に所属していますか？



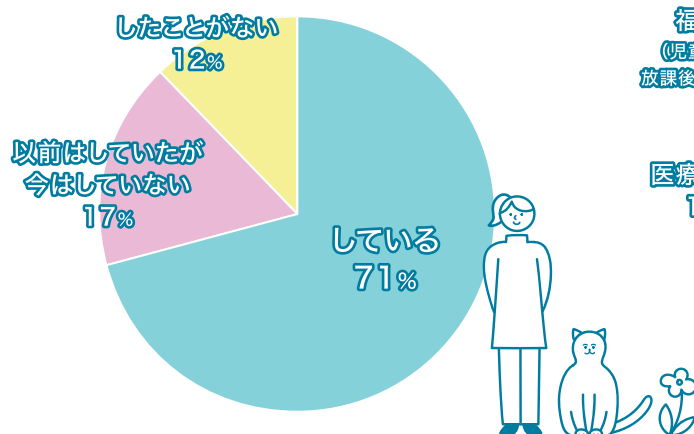
Q 一人暮らし or 実家暮らし？



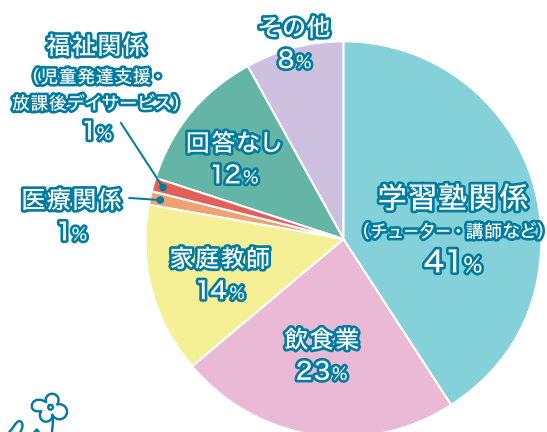
Q 友だちになったきっかけは？



Q アルバイトをしていますか？



Q どのような業種のアルバイトをしていますか？



研修医からのメッセージ



受験生の皆さんへ

研修医2年目
新谷 里緒



こんにちは。和医大に興味をもってくださいありがとうございます。和医大での学生生活と当院での初期研修について簡単にお話ししたいと思います。

まず学生生活についてですが、私は和歌山市の高校から一般入試で入学しました。入学後は、おそらく皆さんが想像する通り、たくさん勉強する内容や試験などありますが、友人と助け合い励まし合いながらコツコツ勉強することで乗り越えてきました。友人達と勉学に励みつつ、時には旅行に行ったり、クラブ活動ではボート部で夏の大会に向けて丸となって取り組んだり、さらに塾講師などのアルバイトで様々な人に出会って自分自身の成長を実感したり、6年間で沢山の思い出を作ることができました。学生生活で得た経験と多くの人との繋がりは、今の私の財産になっています。

続いて、附属病院での初期研修についてお話しします。当院での初期研修の最大の魅力は、多くの診療科がある

大学病院であり、研修する診療科を3か月毎に選択できる自由度の高いプログラムである点です。「外科系に進みたいから手技が多い科を中心に回りたい」、「興味のある診療科を1年目の早い段階で回りたい」などそれぞれのニーズに合った研修が実践できます。これは全国的にも有名で珍しい研修制度で、私自身とても良かったと感じています。また、研修医の人数が毎年60名以上（今年は1年目2年目合わせて140名）と非常に多く、相談できる同期や先輩がすぐ傍に沢山います。病院全体としても教育熱心で教え上手な先生が多く、大学生活に続いて初期研修も非常に充実した日々を送っています。

最後に、受験勉強をしつつ進路を決める大変な時期かと思いますが、悩む過程で和医大のことを少しでも考えていただければ幸いです。皆さんとお会いできる日を楽しみにしています！



感染予防研修

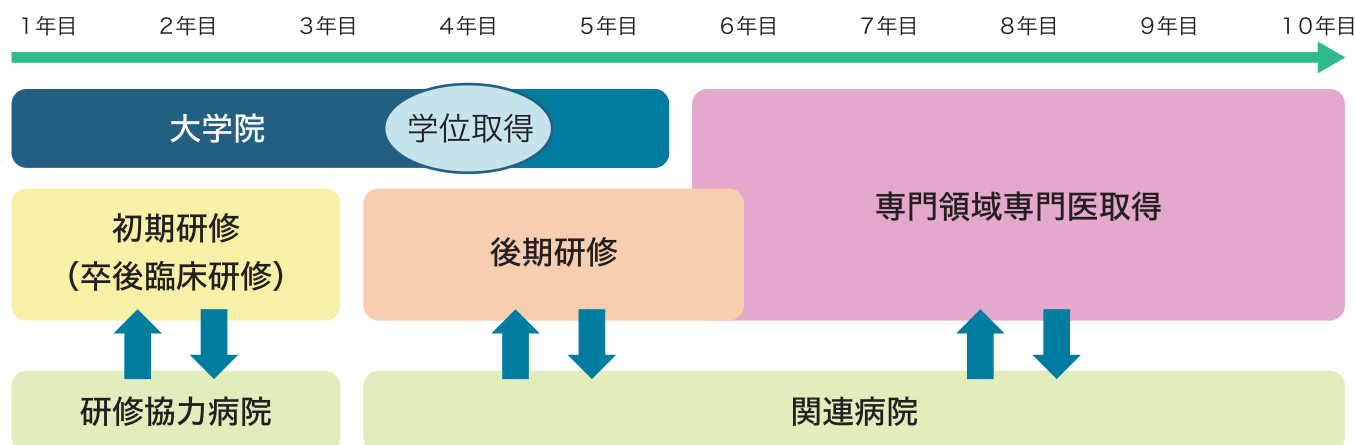


令和7年度採用研修医集合写真



卒後臨床研修センター（高度医療人育成センター3階）

和歌山県立医科大学附属病院研修イメージ（一般入学卒の場合）※卒業年数等はイメージです



部活紹介

大学では現在26の体育会と19の文化会が活動をしています。

課外活動は、3学部合同で活動しており、大学全体での交流の場となっています。

体育会

26 団体

卓球部／軟式庭球部／ゴルフ部／バレーボール部／
フットサル部／空手道部／ヨット部／準硬式野球部／
ラグビー部／剣道部／スキー・山岳部／合気道部／柔道部／
陸上競技部／ボート部／水泳部／バスケットボール部／
ダンスサークル／バドミントン部／サッカー部／
軟式野球部／硬式庭球部／女子バレーボール部／
硬式テニスサークル／フィットネス部／ソフトテニスサークル

文化会

19 団体

軽音楽部／美術部／裏千家茶道部／音楽研究部／
ESS部／保健看護茶道部／Wakayama Will／
アカペラ部／演劇部／華道部／クイズ研究会／釣魚部／
米国医学研究会×USMLE／新聞部／手話サークル／
わくわく子育てボランティア／ミュージックボランティアクラブ／
手芸サークル／薬学ボランティアサークル

文化会

- ① 部活動・サークルの PR ポイント
- ② 受験生へのメッセージ

裏千家茶道部



① 私たちは、裏千家医学部茶道部です。部員のほとんどが兼部しており、大人数でのんびりワイワイしております。初心者始めが多いですが、毎週先生が丁寧に教えてくれるので、卒業する頃には立派なお点前ができるようになります。

② 自然が美しい和歌山で、皆さまとお会いできることを、茶道部一同心待ちにしております。

軽音楽部



① 医薬看合同で主にビッグバンドジャズを演奏しています。医・薬学のキャンパスで練習でき、どの学部の方も活動しやすいです！

② 吹奏楽などをしていた方、大学で新しく楽器を始めたい方、ぜひ一緒に和医大軽音楽部で楽しい演奏活動を楽しみましょう！



@theswingingcells



HP

<https://theswingingcells.wixsite.com/wmutsc>



Wakayama Will



① 医薬看合同、災害医療・防災サークルです。東日本大震災をきっかけに結成され、現在は地域防災活動への参加、大学生の防災意識向上、防災学習を主に行っています。

② 和医大を受験したいけど津波が心配、というそのきみ！ Wakayama Will に入れば大丈夫！正しく知って、正しく恐れて、一緒に命を守る準備をしよう！



次ページへつづく

部活紹介

体育会

- ① 部活動・サークルの PR ポイント
- ② 受験生へのメッセージ

硬式庭球部



- ① こんにちは! 硬式テニス部です! 私達は近畿大会、西医体を目指し、部員全員で楽しく、全力で取り組んでいます! 経験者はもちろん、初心者も大歓迎です!
- ② 苦しい時期もあると思いますが、自分を信じて、最後まで諦めず粘ってみてください! みなさんの第1志望合格を願っています!



@waidai_tennis



@waidai_tennis



軟式庭球部



- ① 週 2,3 で活動し、春・夏・秋の3つの大会に参加しています!
- お花見や野球大会、スキー・スノボ旅行など、他にも行事が盛り沢山です!
- ② 受験生の皆さん、こんにちは! つらいことも沢山あると思いますが、諦めずに頑張ってください! 応援しています!!



@wmusofttennis



@wmusofttennis



HP

<https://nante.kanbu.wixsite.com/my-site>



合気道部



- ① 医薬看合同の部活で、週に 2 回稽古を行っています。ほとんどの部員が大学から合気道を始めています。
- ② 合気道部一同、皆さんを心より応援しています! 春に会えるのを楽しみにしています。



@wmuaikidou



@wmuaikidou



サッカー部



- ① 医薬看合同の部活です! プレイヤーとマネージャーが一丸となって勝利を目指しています! 初心者大歓迎!!
- ② 最後まで諦めず頑張ってください! 皆さんと一緒にサッカーができるのを楽しみに待っています!



@waidai_soccer



準硬式野球部



- ① 初心者から経験者まで多くの選手が活躍しています! 医薬看どの学部の方でも入れます!一緒に野球しましょう!
- ② 皆さんと春にグラウンドで会えることを楽しみにしています! 受験勉強頑張ってください!

HP

<https://wmubaseball.wordpress.com/>



バドミントン部



- ① バドミントン部は和医大の中で最も部員数が多い人気の部活動です。医薬看合同で活動しており、みんな仲良しで楽しい部活です!
- ② 受験勉強頑張ってください!! 皆さんと来年会えるのを楽しみに待っています!!

HP

<https://wakayamamedbad.jimdofree.com>



Club Activities

陸上競技部



- ①陸上競技部は医看薬合同で、学年、種目、本気度に関わらずみんなで仲良く自分のペースで活動しています!! 🏃
- ②素敵なキャンパスライフを目指してあともう一踏ん張りです! 競技場で待ってます!!



@wakayama_mediri



@wmu_tandf



空手道部



- ①医薬看合同で週 2 回楽しく練習しています。初心者から始める人も多いので武道にちょっと興味があるなという方にもおすすめです!
- ②受験勉強大変だと思いますが頑張ってください! 来年の空手道部新歓でお会いできるのを楽しみにしています。



@wmu_karate



ゴルフ部



- ①ゴルフといえば生涯スポーツ! 部員はほぼ全員初心者と、先輩に教えてもらいながらみんなで成長しています。
- ②コツコツ努力してゴールへ突き進む姿勢は勉強もスポーツも同じです。一緒に大学ライフを楽しみましょう!



@wmu_golfteam



ボート部



- ①医学部、看護学部一緒に仲良く活動しています。花火大会、部旅行、BBQ... とイベントも豊富!一緒にボートに乗ろう!
- ②最後まで諦めずに、夢に向かって一途に頑張ってください! 和医大と一緒に夢を叶えましょう。ボート部で待ってます!



@waidai_boat



@wmu.rowing.club



HP

<https://wmu-boat.1net.jp/>



フットサル部



- ①フットサル部です! 週 2 回、医薬看合同で初心者も経験者も分け隔てなく楽しく活動しています!
- ②和医大は部活動も活発な大学です! 楽しい大学生活をイメージして最後までやりきってください!



@wmu_futsal



国際交流

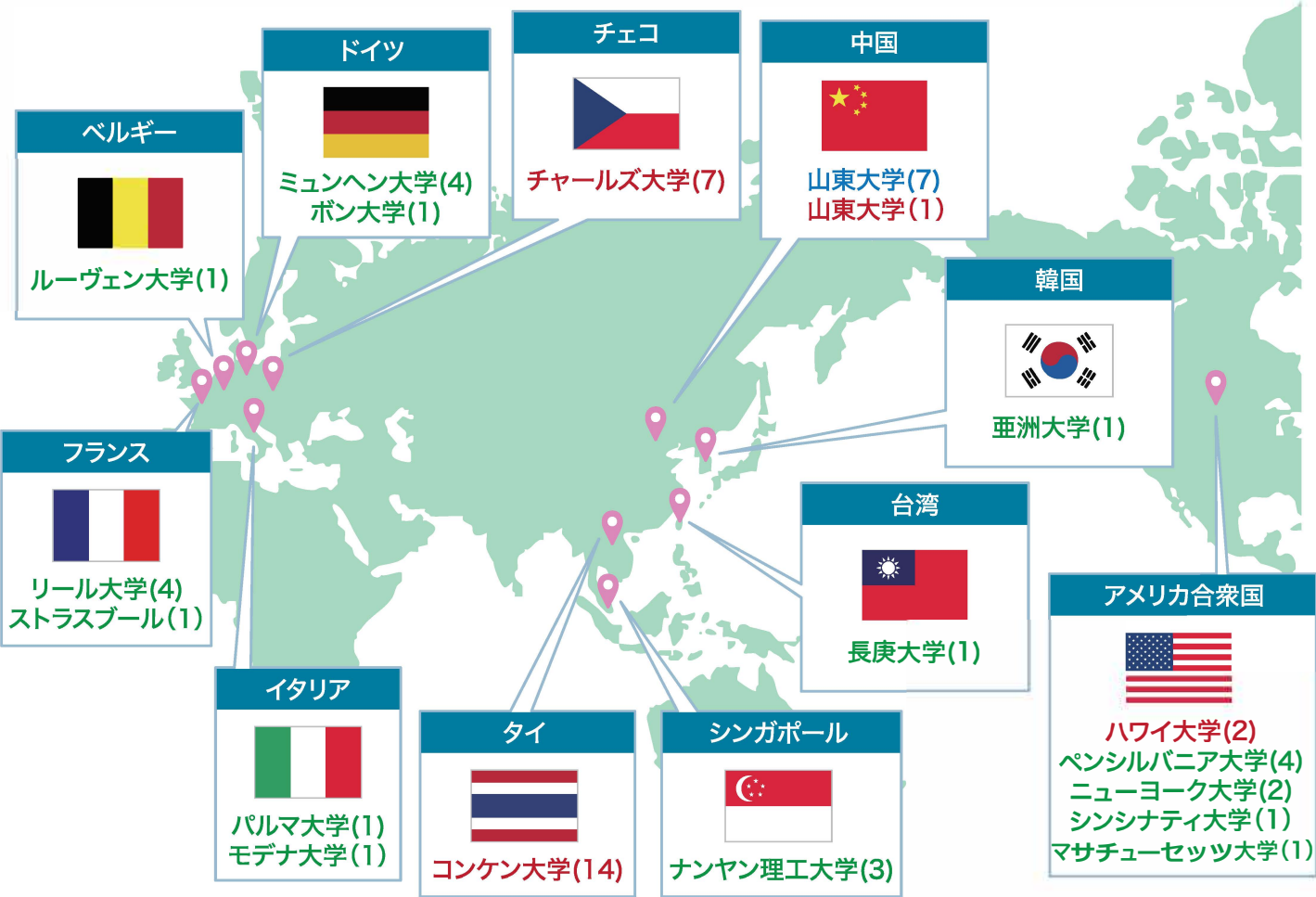
本学では、教育及び研究の面で活発な国際交流が行われています。昭和61年度に本学と中国の山東大学と学術交流協定を締結し、平成17年度に医学部学生4名と保健看護学部学生5名の公式訪問が初めて実現しました。

また、平成18年度からは、国際交流センターを設置し、米国、中国、タイの大学との交流など、国際交流を推進しています。平成27年度までは、海外とは6か国8大学2政府機関1病院と交流協定を締結してきましたが、現在、さらに拡大し、7か国11大学と協定を締結し、留学

生の派遣・受入を行うとともに、教員により学術交流を行っています。平成25年3月にチェコ共和国のチャールズ大学との交流協定を締結したほか、平成28年2月米国ハワイ大学、平成29年にインドネシア共和国のウダヤナ大学、令和5年2月にそれまで学部間協定で交流が続いていたタイ王国マヒドン大学と大学間協定、令和6年10月にポルトガル共和国リスボン大学、12月に中国西南交通大学と協定を締結し、拡大させています。さらに、外国人研究者や外国人留学生を毎年積極的に受け入れるなど、本学の国際交流はますます活発に展開されています。

過去5年の海外留学派遣状況

赤字:臨床、緑字:基礎配属、青字:学生交流



学術交流協定締結先

国名	協定先		
中華人民共和国	山東大学	香港中文大学	西南交通大学
タイ王国	マヒドン大学	コンケン大学医学部	ブラパ大学
インドネシア	ウダヤナ大学		
チェコ	チャールズ大学第二医学部		
アメリカ合衆国	ハワイ大学		
ポルトガル共和国	リスボン大学		
カナダ	ビクトリア大学		

International exchange



KU Leuven への留学

4年生 笈田 玲於名

私は海外基礎配属として、約3ヶ月間ベルギーのKU Leuvenに留学しました。私が留学を通して感じたことを簡単に紹介させていただきます。

まず、基礎配属とは大学3年次の研究室に所属する期間で、和医大では海外の大学に留学するという選択をすることもできます。私は2年次の生理学や薬理学の授業を通して心臓に興味を持ち、ラボではips細胞を心筋細胞に分化させ、3次元の心臓モデルを作るという研究に携わりました。実験の手技を学ぶことはもちろん、日本で最初に作成されたips細胞が海外でどのように使われ、進歩しているのか自分の目で確かめることができました。ラボでは文化の違いを感じることも多く、年齢関係なくフレンドリーで上下関係がないことや何をするにしても自分

がやりたいかどうかという気持ちを大切にすることがとても新鮮でした。

また、短期間でしたが1人で外国に住むという経験をしたことで、行動力や何事にもチャレンジしてみようという気持ちを身につけることができました。週末にはベルギーだけでなく、近隣のオランダやフランス、イギリス、ドイツまで足を伸ばし、たくさんの芸術作品や風景、文化に触れ、刺激的な毎日を過ごしました。

大学3年生というまだまだ勉強途中の段階で、このように海外で研究をするという機会を頂けたことはとても貴重だと思います。私にとってこの留学は様々な経験をし視野を広げ、文化の違いや自分の将来について考えるきっかけとなりました。最後になりましたが、この文章が少しでも受験生の皆さんのモチベーションアップに繋がると嬉しいです。



コンケン大学での留学体験記

6年生 大島 理々子

私は選択制臨床実習でタイ東北部に位置するコンケン大学へ4週間留学させていただきました。シーナカリン病院の救急科では救急車の受け入れ要請を断らないため次から次へと患者さんが搬送されます。時にはERに患者さんが溢れてしまい廊下にベッドが設置されていました。先生方や医学生は英語を話せるため意思疎通に困ることはなく、患者さんとの問診や症例について英語で説明してもらいました。なかには結核や狂犬病など現在の日本ではほぼ見ることのない症例もあり勉強になりました。ERではレジデント(日本の専攻医)の先生方が主に活躍されているのですが、女性の医師がかなり多いことに驚きました。またコンケン大学のExtern(6年生)は日本の研修医の先生方のような働きぶりをしていて、ファーストタッチはもちろんのこと、採血、エコー、

気管挿管、胃洗浄など現場で多くの手技を任されています。彼らはnight shiftがあったり休日にも病院で実習があったりとハードな日々を送っていました。自分の能力との差に圧倒されると同時に、彼らに追いつけるようにより一層座学や手技の習得に努めようと思いました。放課後や休日はタイ人の学生と食事したりバドミントンをしたりカラオケに行ったりと交流を楽しみ、充実した日々を送ることができました。彼らと会話する中で感じたことは、医師への志は万国共通であるということです。このような貴重な機会をいただいた恩を忘れず、この経験を今後のキャリアに活かしたいです。



年間スケジュール

4	上旬	春期休業／入学式／新入生ガイダンス	
	中旬	新入生研修	
	下旬	学生健康診断	
5	上旬		
	中旬		
	下旬		
6	上旬		
	中旬		
	下旬		
7	上旬	西日本医科学生総合体育大会激励会	
	中旬		
	下旬	夏期休業(7月下旬～8月下旬) O S C E (6年)	
8	上旬	西日本医科学生総合体育大会(8月上旬～中旬)	
	中旬	オープンキャンパス	
	下旬		
9	上旬		
	中旬		
	下旬		
10	上旬		
	中旬	篤志解剖体慰霊祭、C B T (4年)	
	下旬	紀葉祭(大学祭)	
11	上旬		
	中旬	O S C E (4年)	
	下旬		
12	上旬		
	中旬	学校推薦型選抜願書受付	
	下旬	冬期休業(12月下旬～1月上旬)	
1	上旬		
	中旬	大学入学共通テスト	
	下旬	白衣授与式	
2	上旬	一般選抜(前期日程)願書受付	
	中旬	学校推薦型選抜及び合格発表	
	下旬	医師国家試験	
3	上旬	開学記念日	
	中旬	一般選抜(前期日程)試験	
	下旬	一般選抜(前期日程)合格発表	
3	上旬		
	中旬	卒業式・学年末休業(3月中旬～下旬)	
	下旬		

入学式

西日本医科学生総合体育大会激励会

篤志解剖体慰霊祭

紀葉祭

卒業式

入学金・授業料・奨学金・保険・アパート・アルバイト

入学金・授業料(令和7年度実績)

入学金	県内生	282,000円
	県外生	752,000円
授業料	年 額	535,800円

※在学中に授業料が改定された場合は、改定時から新授業料が適用されます。

高等教育の修学支援新制度

住民税非課税世帯とそれに準ずる世帯を対象に、学生生活に必要な生活費等をカバーする給付型奨学金と授業料等減免による支援を行う制度です。令和7年度からの支援拡充により、多子世帯に属している学生は所得制限なく授業料減免を受けられます。

世帯所得金額に基づく区分	給付奨学金支給月額		減免額(年額)	
	自宅通学者	自宅外通学者	入学金	授業料
第Ⅰ区分	29,200円	66,700円	282,000円	535,800円
第Ⅱ区分	19,500円	44,500円	188,000円	357,200円
第Ⅲ区分	9,800円	22,300円	94,000円	178,600円
第Ⅳ区分(多子世帯)	7,300円	16,700円	282,000円	535,800円
多子世帯	支給額算定基準額に応じて支給		282,000円	535,800円

※「入学金」の減免は、入学月分から支援を受けられる学生が対象です。

奨学金制度

学業・人物とも優秀かつ健康で、経済的理由により修学が困難である学生に対して、日本学生支援機構、地方公共団体及び各種団体等による奨学金制度があります。

※日本学生支援機構貸与奨学金については、右の表のとおりです。

※高等教育の修学支援新制度の給付奨学金と同時に第一種奨学金を受ける場合、貸与月額から減額又は増額されることがあります。

(令和7年度)

種 類	区 分	貸与月額
第一種奨学金(無利息)	自 宅通学者	20,000円or 30,000円or 45,000円
	自宅外通学者	20,000円or 30,000円or 40,000円or 51,000円or
第二種奨学金(利息付)		2万から1万単位で 上限12万円までの 金額

学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険

学生が教育研究活動中、通学途中、課外活動中に不慮の事故により災害を被った場合の経済的負担の軽減や、正課、学校行事、及びその往復途中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を破損したことにより被る法律上の損害賠償を補償するため、全ての学生に対し、日本国際教育支援協会の「学生教育研究災害傷害保険(学研災)」及び「学研災付帯賠償責任保険(学研賠)」への加入を義務付けています。

(令和7年度)

種 類	保険料	保険期間
学研災	4,800円	6 年間
学研賠	3,000円	6 年間
計	7,800円	

入学手続の際に加入していただきます。

アパート等

学生寮はありませんが、大学周辺に多くの学生向けの民間アパートやワンルームマンションがありますので、それらを利用してください。なお、民間アパート等のあっ旋については大学生協にお問い合わせください。

アルバイト

本学ではアルバイトの紹介は行っていません。
なお、学生生活においてアルバイトは二義的なものであり、学業に影響がないように心がけましょう。

キャンパスマップ

紀三井寺キャンパス

本学の紀三井寺キャンパスは、「海・森・命」をデザインキーワードに北側の学部は和歌浦に浮かぶ「玉津島山」に見立てた9棟の建物群からなり、南側の病院棟では、波のイメージの曲線や森のイメージの緑色が使われています。東側には水路状の池と植栽を施し、それを回る遊歩道を設け患者や一般の人々に憩いの場を提供しています。図書館の壁には「生命の潮流」が描かれており、研究棟の玄関には「紀国山海宝船」、3階から10階には海から森そして天へと巡回するアートワークが施されています。

また、平成25年度末には附属病院（東棟）が完成し、県民医療枠や地域医療枠の学生が卒後、医師として専門医や学位を取得できるよう、キャリア形成の支援をより充実して行えるようになりました。

さらに、令和2年9月には、医学部、保健看護学部、薬学部の3学部が共同で研究を行うことなどを目的とした次世代医療研究センターが完成しました。

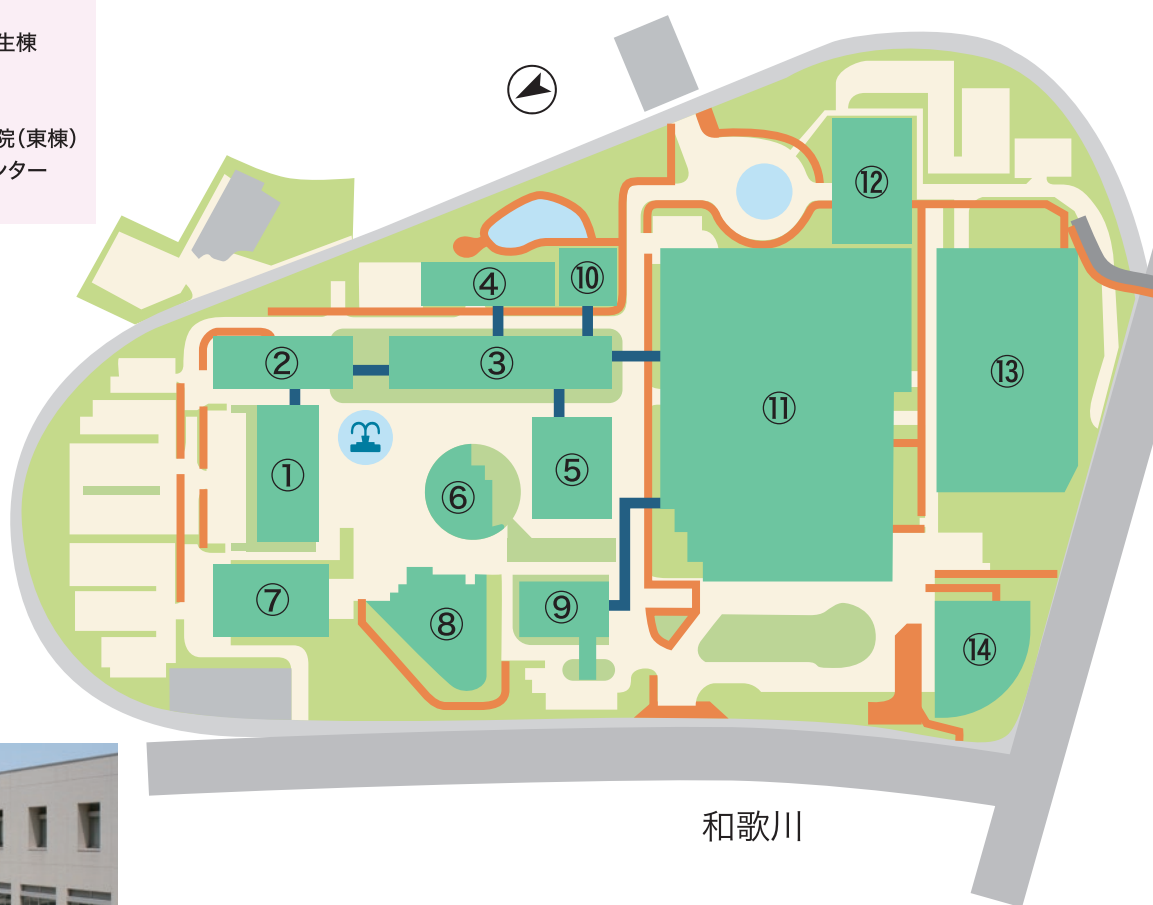


正門

- ①基礎教育棟 ②実習棟 ③研究棟
- ④次世代医療研究センター
- ⑤R1・動物実験施設 ⑥福利厚生棟
- ⑦講堂 ⑧図書館 ⑨管理棟
- ⑩高度医療人育成センター
- ⑪附属病院(中央棟) ⑫附属病院(東棟)
- ⑬立体駐車場 ⑭エネルギーセンター
- ⑮体育館



活物窮理の像



①基礎教育棟



⑥食堂(福利厚生棟内)



⑥福利厚生棟・⑧図書館・噴水



⑧図書館

Campus Map



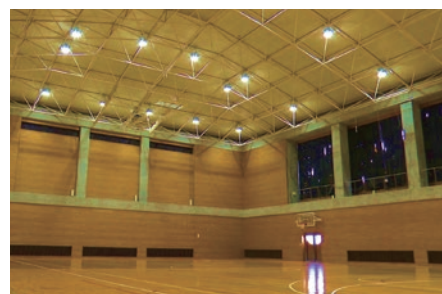
③研究棟



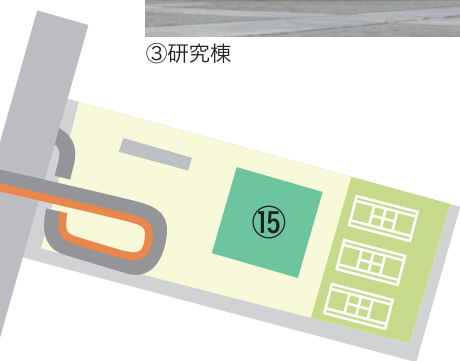
④次世代医療研究センター



⑩高度医療人育成センター



⑮体育館



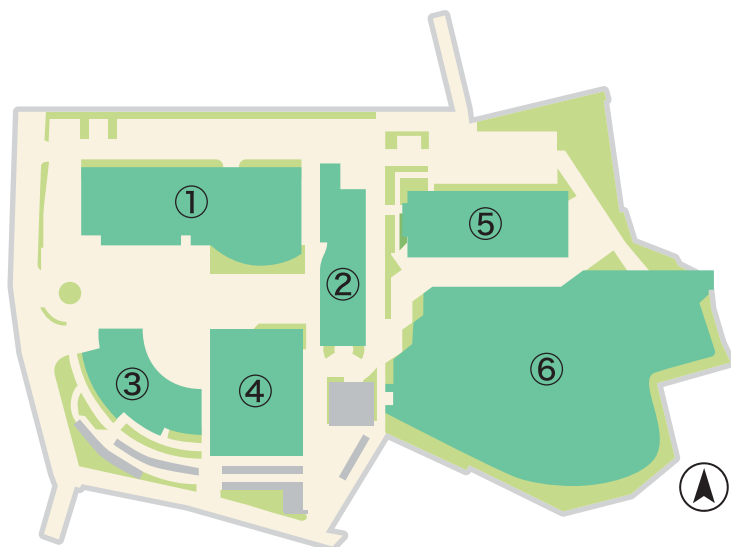
⑪ファミリーマート(附属病院1階にあります。)



⑪スターバックスコーヒー(附属病院2階にあります。)

三葛キャンパス

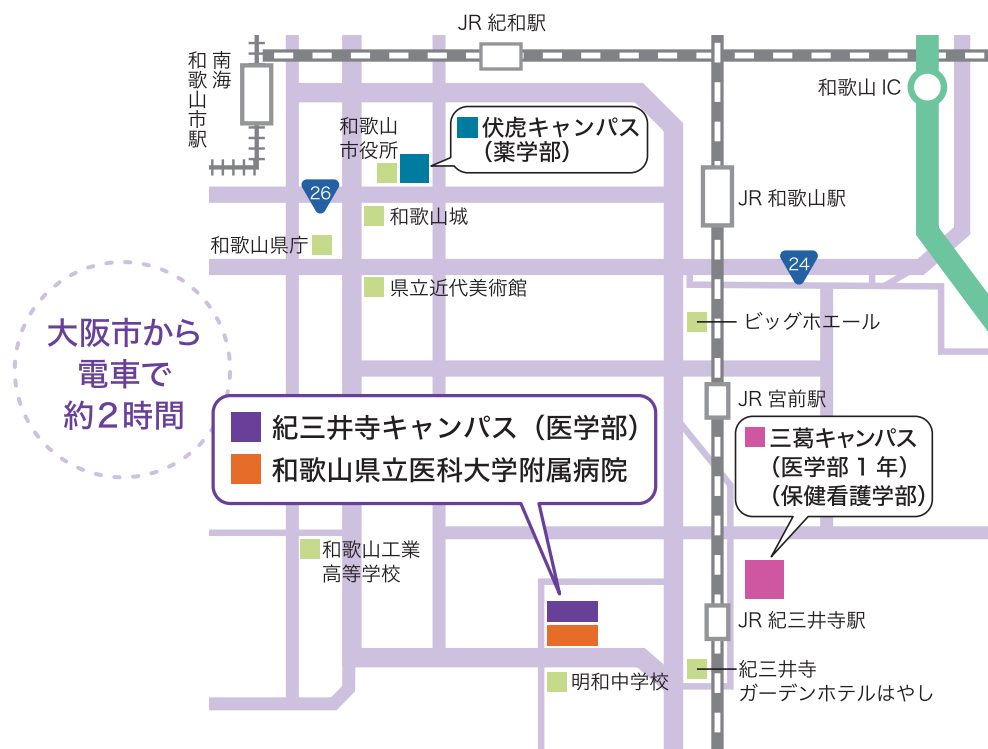
JRきのくに線紀三井寺駅から北へ約1kmの位置に本学の三葛キャンパスがあります。周囲を閑静な住宅街に囲まれたこのキャンパスでは、医学部1年生がリベラルアーツ(教養教育)を中心に学んでいます。



三葛キャンパス

- | | |
|-----------|--------|
| ①管理・校舎棟 | ②研究棟 |
| ③図書館棟 | ④体育館棟 |
| ⑤医学部三葛教育棟 | ⑥グラウンド |

Access Map



紀三井寺キャンパス(医学部)へのアクセス

電車のご利用

JRきのくに線 紀三井寺駅下車 徒歩約7分

バスのご利用

JR和歌山駅または南海和歌山市駅から和歌山バス「医大病院」又は「医大病院前」下車

JR和歌山駅から乗車の場合

医大病院行き「医大病院」下車すぐ

和歌山マリーナシティ・海南駅前・海南藤白浜行き「医大病院前」下車徒歩3分

南海和歌山市駅から乗車の場合

医大病院行き「医大病院」下車すぐ

和歌山マリーナシティ・海南駅前・海南藤白浜方面行き「医大病院前」下車徒歩3分



令和8年 和歌山県立医科大学 医学部案内

和歌山県立医科大学 紀三井寺キャンパス・附属病院

〒641-8509 和歌山市紀三井寺811番地1

Tel: 073-447-2300(代表) Tel: 073-441-0702(学生課)

和歌山県立医科大学 三葛キャンパス

〒641-0011 和歌山市三葛580番地

和歌山県立医科大学 伏虎キャンパス

〒640-8156 和歌山市七番丁25番1

\ ホームページ /

\ 大学案内 /



<https://www.wakayama-med.ac.jp/>